

施工要領 防火性・安全性

塗装下地壁紙 ルナファーザー

————— 目 次 —————

チップス施工要領	2
フリーズ施工要領	4
塗装要領	6
メンテナンス	7
無塗装仕上げについて	8
防火性能	8
安全性能	8

Runafaser

日本ルナファーザー株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山2-7-26 マゾン青山203号
TEL. 03-5785-2750 FAX. 03-5785-2753
<https://www.runafaser.co.jp/>

ルナファーマー・チップス施工要領

施工前の注意点

- ・チップスは糊の水分で伸縮が起きる。
- ・湿度85%以上、気温5℃以下での施工は避ける。
- ・チップスヘマスキングテープは貼れない。

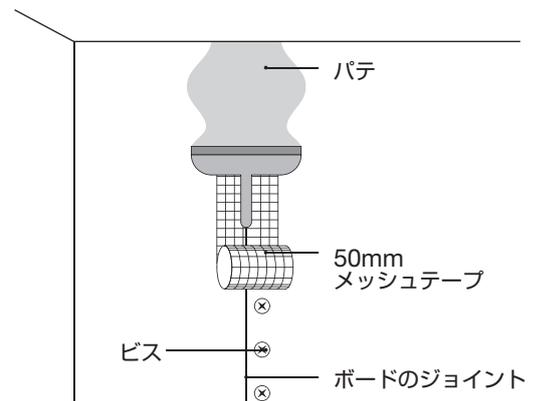
リフォーム時の注意点

- ・既存のクロスは裏紙も出来るだけはがす。
- ・裏紙に水を付けて膨れてきたら、スクレッパーではぎ取る。
- ・取れずに残った裏紙は、パテ処理して段差をなくす。
- ・No.20/75は不陸を拾いやすいので、はがしとパテ処理は念入りにする。

チップス施工の注意点

①下地処理

- ・石膏ボードのジョイントは幅50mmの糊付きメッシュテープで補強する。
- ・エコエコ目地テープ、グラスファイバー製などを使用。
- ・パテは下塗り・上塗りタイプを用い、2回以上かける。
- ・合板下地は部分的な使用にとどめ、アク止めシーラーを塗る。
- ・モルタル・珪酸カルシウム板へは、適切なシーラーを塗る。

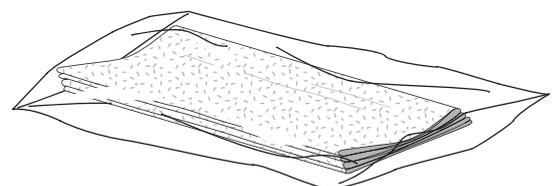


②糊

- ・糊は原液使用タイプを推奨。(ウォールボンド100、エコタック100)
- ・希釈タイプの糊は必ず接着補強材を加え、希釈水は規定量以内にとどめる。

③糊付け

- ・糊付け機にセットする時は、紙の裏表に注意する。
- ・カットテープは使用しなくてもよい。
- ・糊は通常の1.5倍程度にたっぷりとする。
- ・糊付け後のオープンタイムは10~20分とする。
- ・張り付けまで、必ずクロスパックに入れて、糊の乾燥を防ぐ。
- ・長時間、糊の付け置きはしない。



糊付け後はクロスパックに入れる

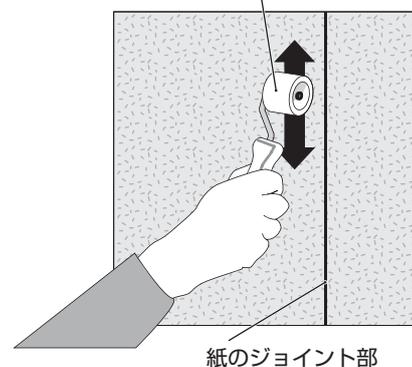
④張り付け

- ・ 押さえ刷毛は長手方向へ「八の字」に使い、空気を抜く。
- ・ 横手方向へは軽く押さえて、紙を横に伸ばさないようにする。
- ・ 紙のジョイントは突き付け張りで、紙の端は重ねない。
- ・ 合わせ切りは出来るだけ避ける。
- ・ 合わせ切り部分は、ボードに和紙テープを貼り、紙の目開きを防ぐ。
- ・ 紙の端の部分（ジョイント部）を、目地ローラーでしっかり圧着させる。
- ・ 接着が弱いと、塗装後に紙の端で膨れや目開きが起きるので注意する。
- ・ ジョイント部は完全には消せないが、塗装で目立たなくなる。
- ・ 紙の表面に付いた汚れや糊は、かるく拭き取るだけでよい。
- ・ 入り隅は廻し張りをせず、カットしてボンドコークを入れる。
- ・ 枠や巾木の取り合いは、薄ベラを使い、キワでカットする。



押さえ刷毛は長手方向に「八の字」に使う

目地ローラーで圧着する

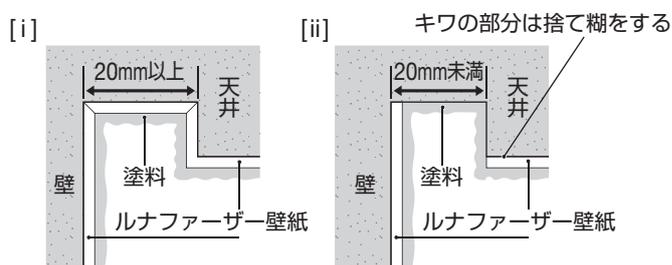


⑤No.52/75、70/75の注意点

- ・ 木チップが大きく、カッターがはじかれるので注意する。
- ・ 合わせ切りは目立たない場所へ割り付ける。
- ・ 張り付け時に木チップが飛び出たら、取り除くか、糊を付けて元に戻す。

⑥その他

- ・ 天井目地が20mm未満の場合は、紙は張らずに塗装のみおこなう。



[i] 目地底が 20mm 以上の場合
目地底も張る

[ii] 目地底が 20mm 未満の場合
目地底は張らずに紙をカットして、
塗装でカバーする

ルナファーマー・フリーズ施工要領

施工前の注意点

- ・フリーズは外表巻。
- ・丈夫な紙で、糊付け後の伸縮はほとんどない。
- ・No.718のみ、縦18cmのリPEATがある。
- ・湿度85%以上、気温5℃以下での施工は避ける。

リフォーム時の注意点

- ・既存のクロスは裏紙も出来るだけはがす。
- ・裏紙に水を付けて膨れてきたら、スクレッパーではぎ取る。
- ・取れずに残った裏紙は、パテ処理して段差をなくす。
- ・No.741は不陸を拾いやすいので、はがしとパテ処理は念入りにする。

フリーズ施工の注意点

①下地処理

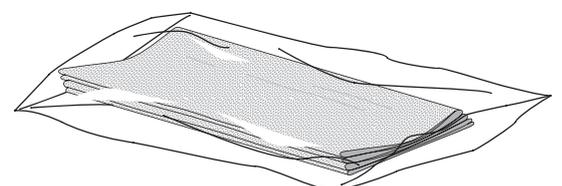
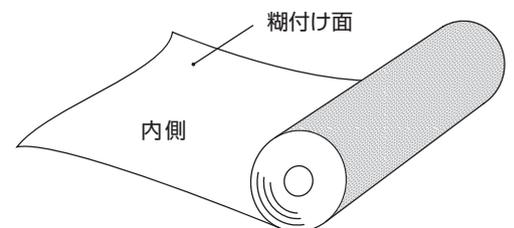
- ・パテは下塗り・上塗りタイプを用い、2回以上かける。
No.741は3回以上行き、不陸をなくす。
- ・合板下地は部分的な使用にとどめ、アク止めシーラーを塗る。
- ・モルタル・珪酸カルシウム板へは、適切なシーラーを塗る。

②糊

- ・糊は原液使用タイプを推奨。（ウォールボンド100、エコタック100）
- ・希釈タイプの糊は必ず接着補強材を加え、希釈水は規定量以内にとどめる。

③糊付け

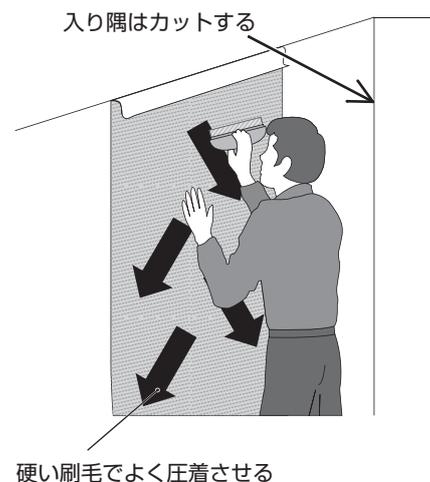
- ・糊付け機へ逆向きにセットし、内側に糊を付ける。
- ・カットテープは使用しなくてもよい。
- ・糊は通常の1.5倍程度にたっぷりとする。
- ・糊付け後のオープンタイムは取らなくてよい。
- ・張り付けまで、必ずクロスパックに入れて、糊の乾燥を防ぐ。
- ・折りジワが付くと取れなくなるので注意する。
- ・長時間、糊の付け置きはしない。



糊付け後はクロスパックに入れる

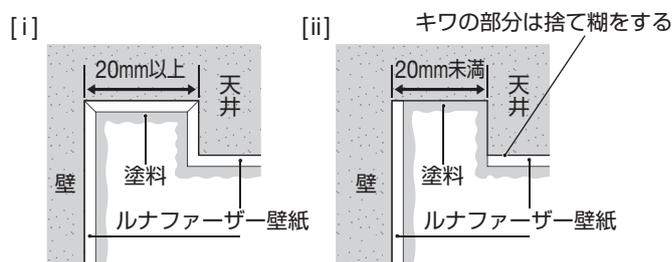
④張り付け

- ・凹凸の山をつぶさない程度で、刷毛で押さえて圧着させる。
- ・紙のジョイントは突き付け張りで、紙の端は重ねない。
No.718以外は、柄合わせは不要。
- ・合わせ切りは出来るだけ避ける。
- ・合わせ切り部分は、ボードに和紙テープを貼り、紙の目開きを防ぐ。
- ・接着が弱いと、塗装後に紙の端で膨れや目開きが起きるので注意する。
- ・ジョイント部は完全には消せないが、塗装で目立たなくなる。
- ・紙の表面に付いた汚れや糊は、かるく拭き取るだけでよい。
- ・入り隅は廻し張りをせず、カットしてボンドコークを入れる。
- ・枠や巾木の取り合いは、薄ベラを使い、キワでカットする。



⑤その他

- ・凹凸で接着面の少ない柄の、天井への張り付けは二人で作業する。
- ・天井目地が20mm未満の場合は、紙は張らずに塗装のみおこなう。



[i] 目地底が 20mm 以上の場合
目地底も張る

[ii] 目地底が 20mm 未満の場合
目地底は張らずに紙をカットして、
塗装でカバーする

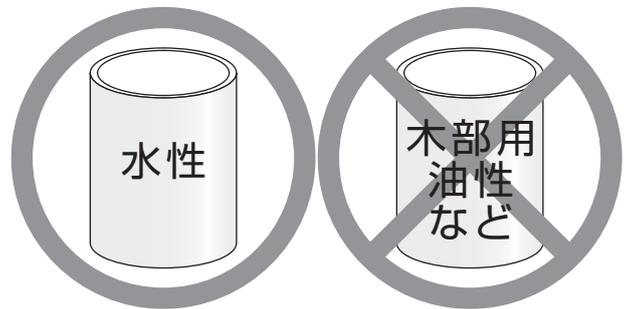
ルナファーマー塗装要領

施工前の注意点

- ・紙を張った糊が十分乾燥した後に塗装する（晴れた日で8時間以上）
- ・チップスの紙へは、マスキングテープが貼れない。
- ・湿度85%以上、気温5℃以下での施工は避ける。

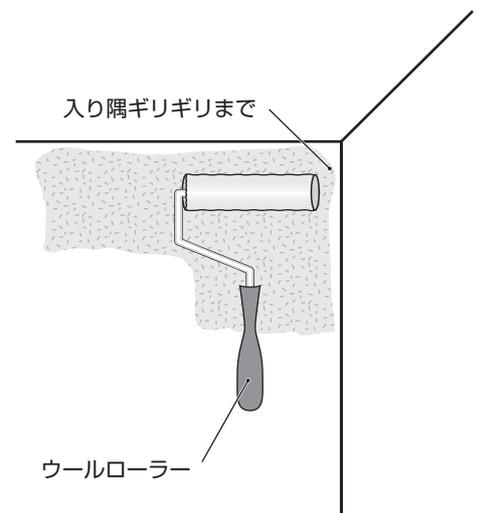
塗料

- ・環境配慮型の安全な、水性エマルジョンタイプを推奨。
- ・製品や色は、自由に選択できる。
- ・防火仕様の場合は、水性アクリル樹脂系塗料 (AEP)を使用する。
- ・木部用の浸透性塗料や油性塗料は使用できない。
- ・自然素材系の塗料は、水性タイプであれば塗装できるが、塗装条件、におい、調色方法、仕上がりなどを十分理解した上で使用する。
- ・通常「ツヤ消し」タイプを使用する。
- ・洗面、トイレの壁など、水掛かり部には「3分ツヤ」タイプもある。



塗装

- ・シーラー処理は必要ない。
- ・直接中毛ローラーを使い、追っかけ2回塗りで仕上げる。
- ・入隅にボンドコークがさしてあるか確認する。
- ・吹き付け塗装はできない。
(毛羽立ちが起き、目地が切れる)
- ・希釈水は、規定量以内にとどめる。
- ・平面の紙のジョイントには、絶対にボンドコークを入れない。
(塗装後に黒いスジとなってしまう)
- ・はじめに入隅や枠廻りを腰の強いナイロン刷毛で塗装する。
- ・1回目の塗装で、多少かすれが出てもかまわない。
- ・1時間ほどして表面が乾いたら、2回目の仕上げ塗装をおこなう。
- ・塗装直後のローラーのあとは、塗料が乾けば消える。
- ・使用した塗料を少量密閉容器に入れ、補修用として残す。
(缶のままではサビが出るので、ペットボトルなどに入れる)



補修用に塗料を
ペットボトル等に入れて残す

ルナファーマーのメンテナンス

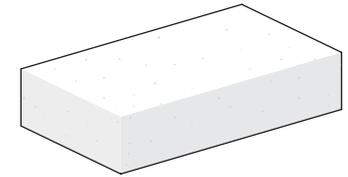
水性塗料の補修

- ・手垢などによる部分的な汚れは、白いメラミンスポンジに水を含ませて拭き取る。
- ・水拭きで取れない汚れやキズは、残しておいた塗料で上塗りする。
(乾いた布に付けて、軽くたたくように何回か塗り重ねる)
- ・小さなキズや少しのはがれは、そのまま塗料を上塗りする。
- ・紙がふくれた場合は、糊を入れて貼り戻す。
- ・紙がはがれた場合は、裏に糊を付けて貼り戻し、糊が乾いてから破れ目を塗装する。
- ・紙が貼り戻せない場合は、パッチワークの要領で新しい紙を切り貼りし、再塗装する。部分塗装で色が揃わないときは、その面全体を塗る。
- ・入隅で口が開いた場合は、ボンドコークで塞いで塗料を塗る。
(同色のボンドコークできれいにおさまれば塗装しなくてよい)
- ・全体的に汚れてきた場合は、そのまま塗り重ねができる。
- ・再塗装は7~8回可能で、その間はルナファーマーを張り替える必要がない。
- ・補修用に残した塗料は、異臭がしたら処分する。

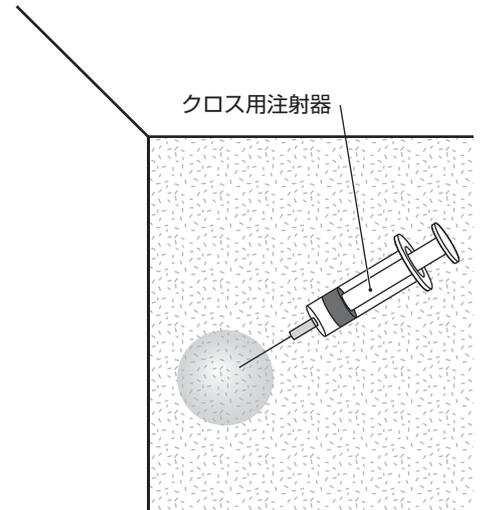
※白いメラミンスポンジは、家庭用の掃除用品として販売している。垂れない程度に水を絞り、軽くこすればよい。

※補修の塗料は、厚塗りにならないよう注意する。
塗料に水を少量加え、薄塗りを数回重ねる。

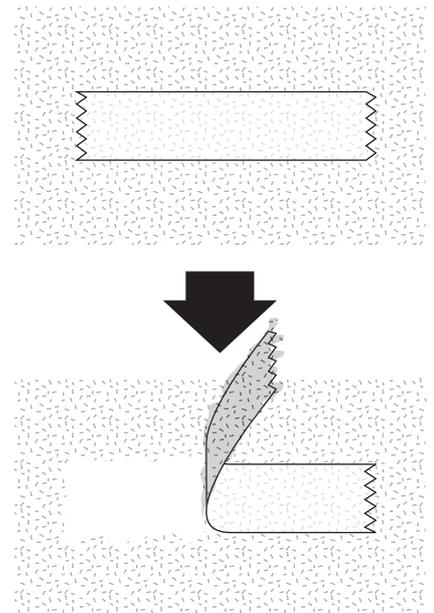
※チップスの上には、セロハンテープは貼れない。
(はがす時に、紙もいっしょにはがれてしまう)



メラミンスポンジ
(「激落ち君」などの名称で
掃除用品として販売されている)



壁紙にふくれが出たときは
クロス用注射器で糊を注入する



チップスの上には
セロハンテープは貼れない

ルナファーザーの無塗装仕上げについて

ルナファーザーは塗装を前提に作られた、ドイツ製の塗装用下地壁紙です。塗装する上では問題にならないことが、素地のままではクレームとなりますので、水性塗料で塗装してください。

無塗装の問題点

- ①紙のジョイント部が、黒いスジとしてはっきり残ります。
- ②汚れやキズが付きやすく、いったん付くと取れません。
- ③問題が起きても、張り替えでは補修できません。
- ④施工後しばらくすると、毛羽立ちや黄ばみが起きます。
- ⑤チップスは再生紙のため、ロール違いや、同じロールでも色が合わない場合があります。
- ⑥チップスにはシミのような黒い斑点があります。
- ⑦フリーズは下地のパテが透けて見えます。

ルナファーザーの防火性能

防火仕様の場合は、水性アクリル樹脂系塗料をルナファーザーへ塗装し、基材との組み合わせで国土交通大臣より認定を受けています。

◆不燃材料認定品

商品名	認定番号	下地材
ルナファーザー・チップス	NM-0224	不燃材料 (金属板を除く)
ルナファーザー・フリーズ	NM-0223	

※不燃せっこうボード下地で不燃材料の認定品です。大規模建築物への使用が可能です。

◆準不燃材料認定品

商品名	認定番号	下地材
ルナファーザー・チップス	QM-0134	準不燃せっこうボード
ルナファーザー・フリーズ	QM-0135	

ルナファーザーの安全性能

ルナファーザーはホルムアルデヒド規制対象外の製品として、国土交通大臣の認定を受けています。

商品名	認定番号	放散等級	使用制限
ルナファーザー・チップス	MFN-0650	F☆☆☆☆	なし
ルナファーザー・フリーズ	MFN-0665	F☆☆☆☆	なし